

JASDAQ

銘柄略称:オリコンHD

証券コード:2498

2019年9月期 決算説明会

2019年11月28日

代表取締役社長 野崎 秀則



株式会社

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

プレゼンテーション・アウトライン

- I： 当社グループのご紹介
- II： 今回の決算説明会のポイント
- III： 2019年9月期 業績・成果ハイライト
- IV： 2020年9月期 通期業績見通し
- V： 質疑応答

I : 当社グループのご紹介



ORICON HD

(1) 当社グループのあゆみ

(株)オリエンタルコンサルタンツを中心に、
着実に成長してまいりました。

1957年	○(株)オリエンタルコンサルタンツ創立 (道路、鉄道等のコンサルタント事業で発展)
1999年～	○オリコンサルグループを形成 ○株式公開 (現JASDAQ)
2006年～	○オリコンサルグループを継承し、(株)ACKグループを設立 ○(株)オリエンタルコンサルタンツの海外事業を大幅に拡大 ○グループとしての価値観を共有できる、さまざまな企業の参画
2018年～	○(株)オリエンタルコンサルタンツホールディングスに社名変更

1957年～



1999年～



2006年～



2018年～



(2) 当社グループの提供サービス

国内外の社会インフラを中心に、
企画・提案～計画・設計～建設・監理～運営・保全まで、
多様なサービスを、ワンストップで提供しています。



【イメージ】当社グループが対象とする社会インフラ(抜粋)

(3)グループ会社の紹介

多様な専門技術を保有している6社を中心に運営しています。

会社名	創立	主な技術サービス・商品
(株)オリエンタルコンサルタンツ	1957年	交通・都市・地域・環境・構造・防災・プロジェクトマネジメント など
(株)オリエンタルコンサルタンツ グローバル	2014年	道路・鉄道・港湾・空港・地域開発 経済及び産業開発計画 など
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	1962年	地質・土質・地盤、調査・構造、さく井、 地下水、建造物解体、施工 など
(株)中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物・環境調査・計画・ 設計・施工管理・維持管理 など
(株)エイテック	1968年	建設・交通に関する調査・設計・監理・ 測量・計器類 など
(株)リサーチアンドソリューション	1978年	アプリソフトウェア開発・販売、 バックオフィスソリューション など

主要な連結会社を記載

Ⅱ：今回の決算説明会のポイント



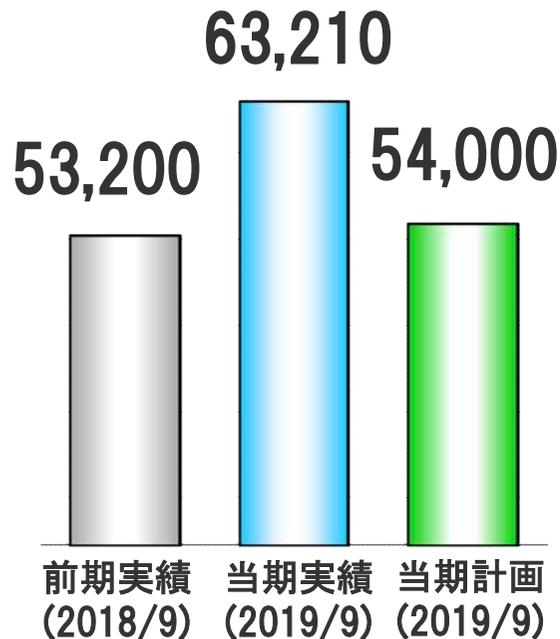
今回の決算説明会のポイント

1

- **8期連続**で増収増益(営業利益)を達成
- 売上高、営業利益、純利益で**過去最高更新**

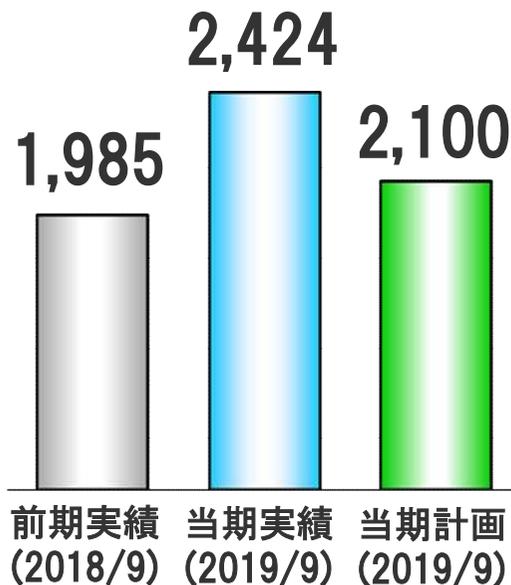
<売上高>

前期比 19%増
計画比 17%増



<営業利益>

前期比 22%増
計画比 16%増



<純利益>

前期比 30%増
計画比 7%増



(百万円)

今回の決算説明会のポイント

2

■ **6期連続の増配**

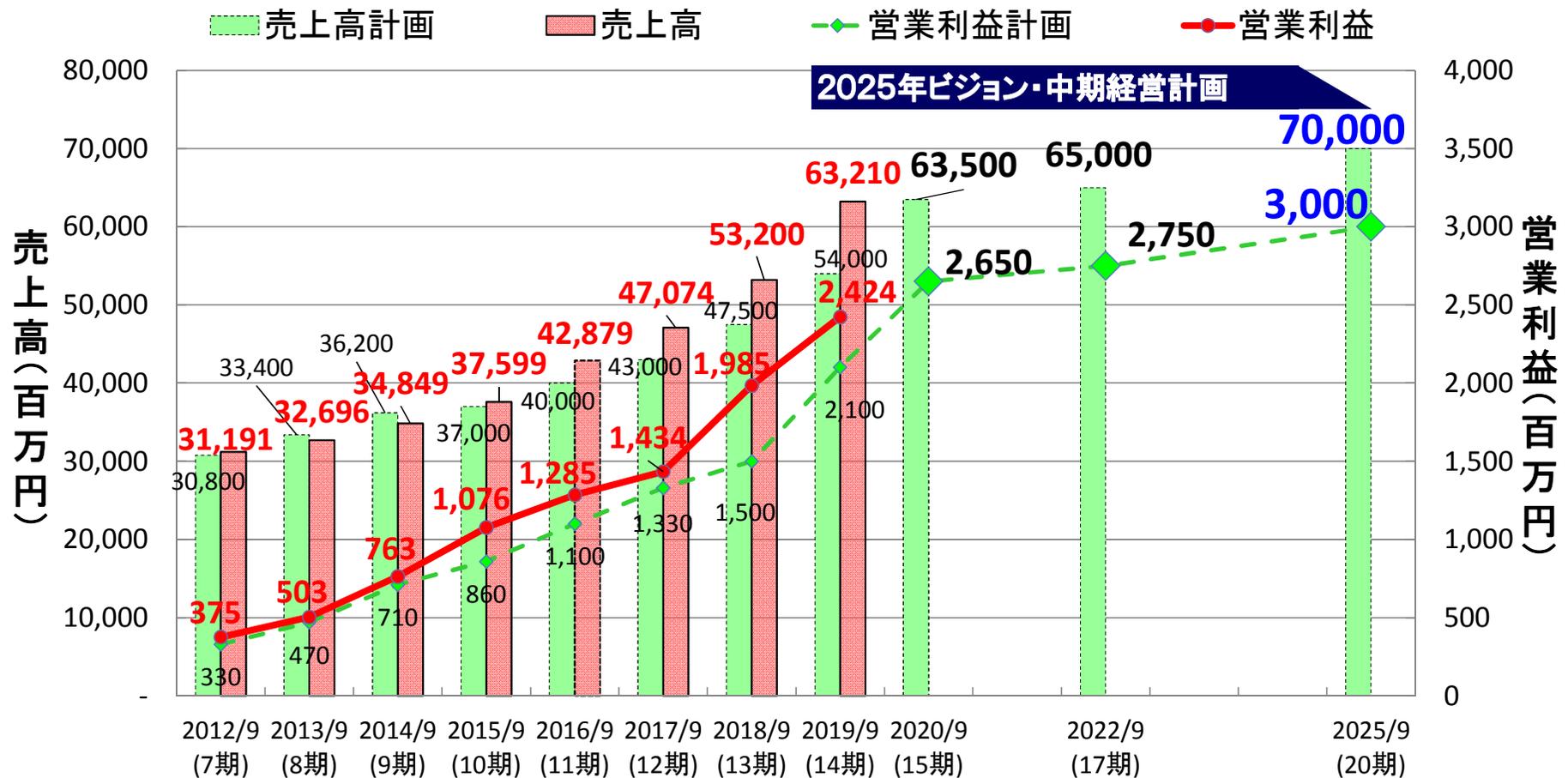
■ 1株当たり配当は**過去最高の37.5円**

	2013/9 (8期)	2014/9 (9期)	2015/9 (10期)	2016/9 (11期)	2017/9 (12期)	2018/9 (13期)	2019/9 (14期)
普通配当	7.5円	10.0円	10.0円	20.0円	22.5円	30.0円	37.5円
記念配当	—	—	2.0円	—	—	—	—
合計	7.5円	10.0円	12.0円	20.0円	22.5円	30.0円	37.5円

今回の決算説明会のポイント

3

2025年中期経営計画の目標達成に向け、 順調に成長





1. 2019年9月期 通期業績

(1) 連結受注高

- 受注高は、前期比で約151億円(20.8%)増加し、883億円
- 受注残高も前期比で約252億円(27.1%)増加し、1,185億円

➤ 受注残高は大幅に増加し、来期以降の売上に貢献

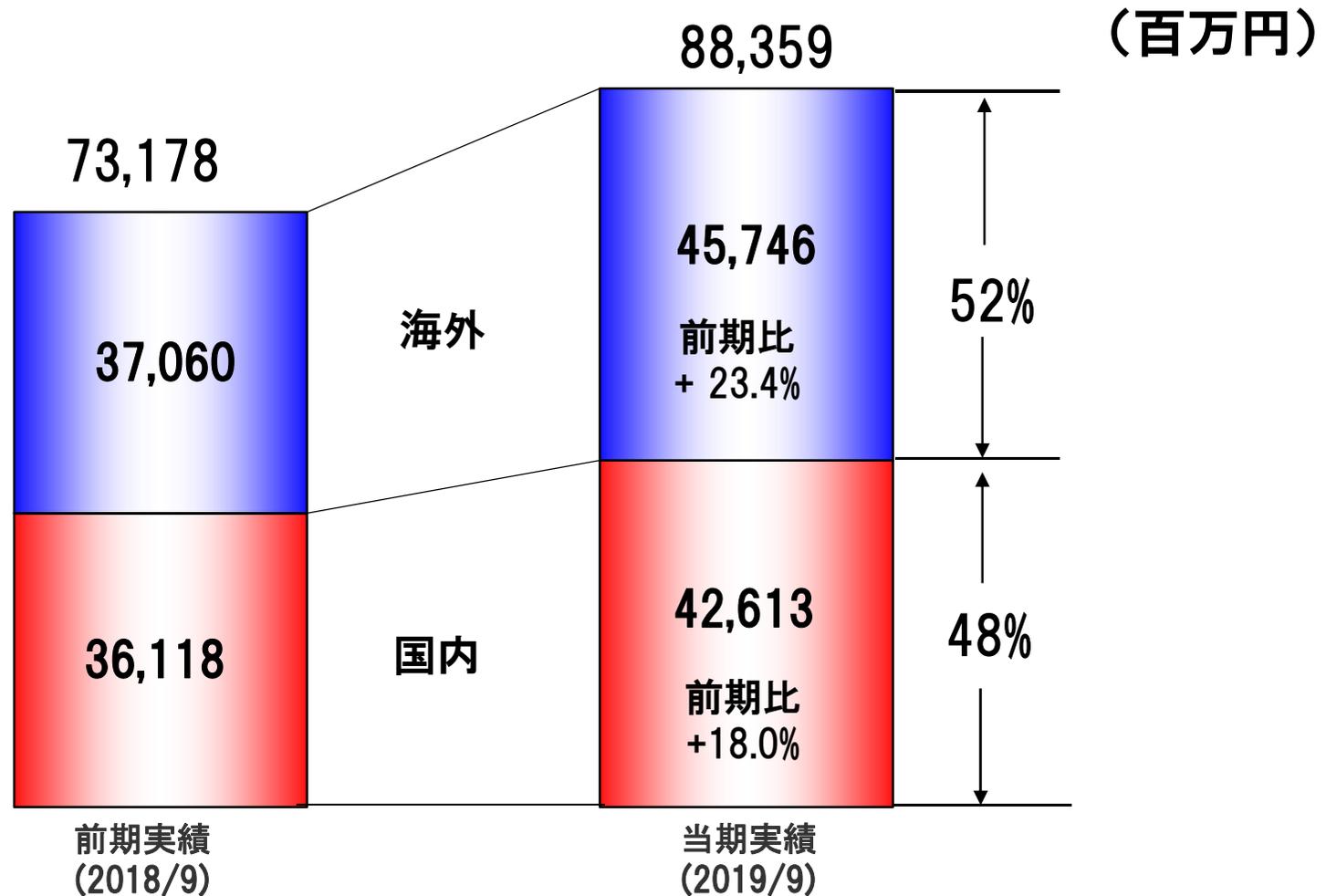
(百万円)

	前期実績 (2018/9)	当期実績 (2019/9)	増減	当期計画 (2019/9)
受注高	73,178	88,359	↑ +15,181 (+20.8%)	—
受注残高 [※]	93,299	118,576	↑ +25,277 (+27.1%)	—

※受注残高: 受注済で売上可能な総額

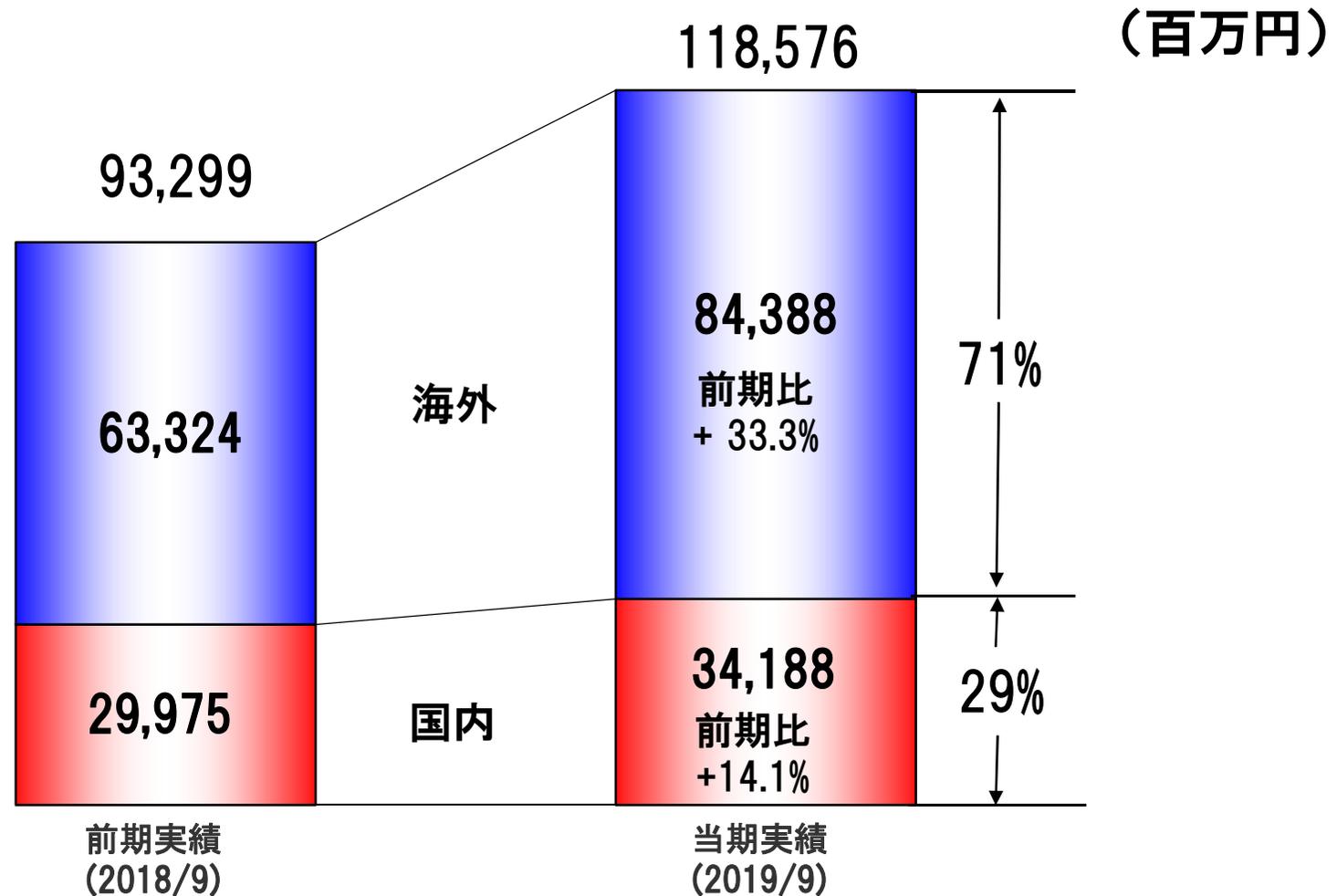
(2) 連結受注高 国内外市場別

- 国内はインフラ整備・保全、再開発業務、地方創生関連業務が順調
- 海外はフィリピン、スリランカ、インドネシアの大型案件等を受注



(3) 連結受注残高 国内外市場別

■ 海外の受注残高のうち、納期が2年後以降の案件は7.5割、
進行基準により、中期に渡って、売上高に貢献



(4) 連結売上高、利益

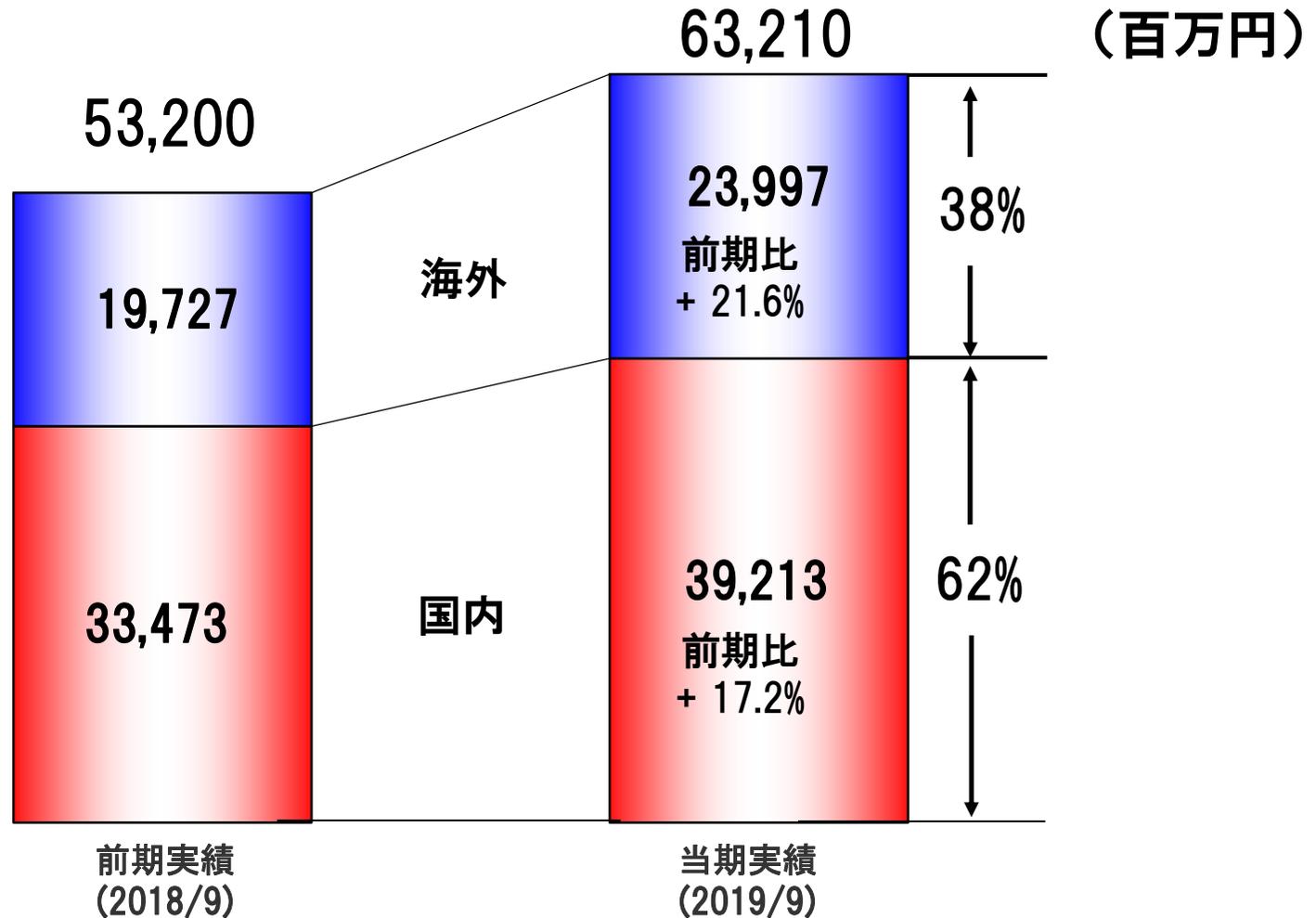
■ 売上増加に伴い、利益は3年連続で2桁以上の伸び率、
過去最高を更新

	前期実績 (2018/9)	当期実績 (2019/9)	増減	当期計画 (2019/9)
売上高	53,200	63,210	↑ +10,010 (+18.8%)	54,000
営業利益	1,985	2,424	↑ + 439 (+22.1%)	2,100
経常利益	1,824	2,069	↑ + 245 (+13.4%)	2,030
当期純利益	1,033	1,344	↑ + 311 (+30.1%)	1,260

(百万円)

(5) 連結売上高 国内外市場別

- 国内は人員増加・生産効率化により売上高増加
- 海外は近年続く大型受注案件が順調に売上高に寄与



2. 2019年9月期 成果ハイライト



(1)事業創造・拡大に向けた強化方針(個の強化)

【ビジョン】

社会価値創造企業

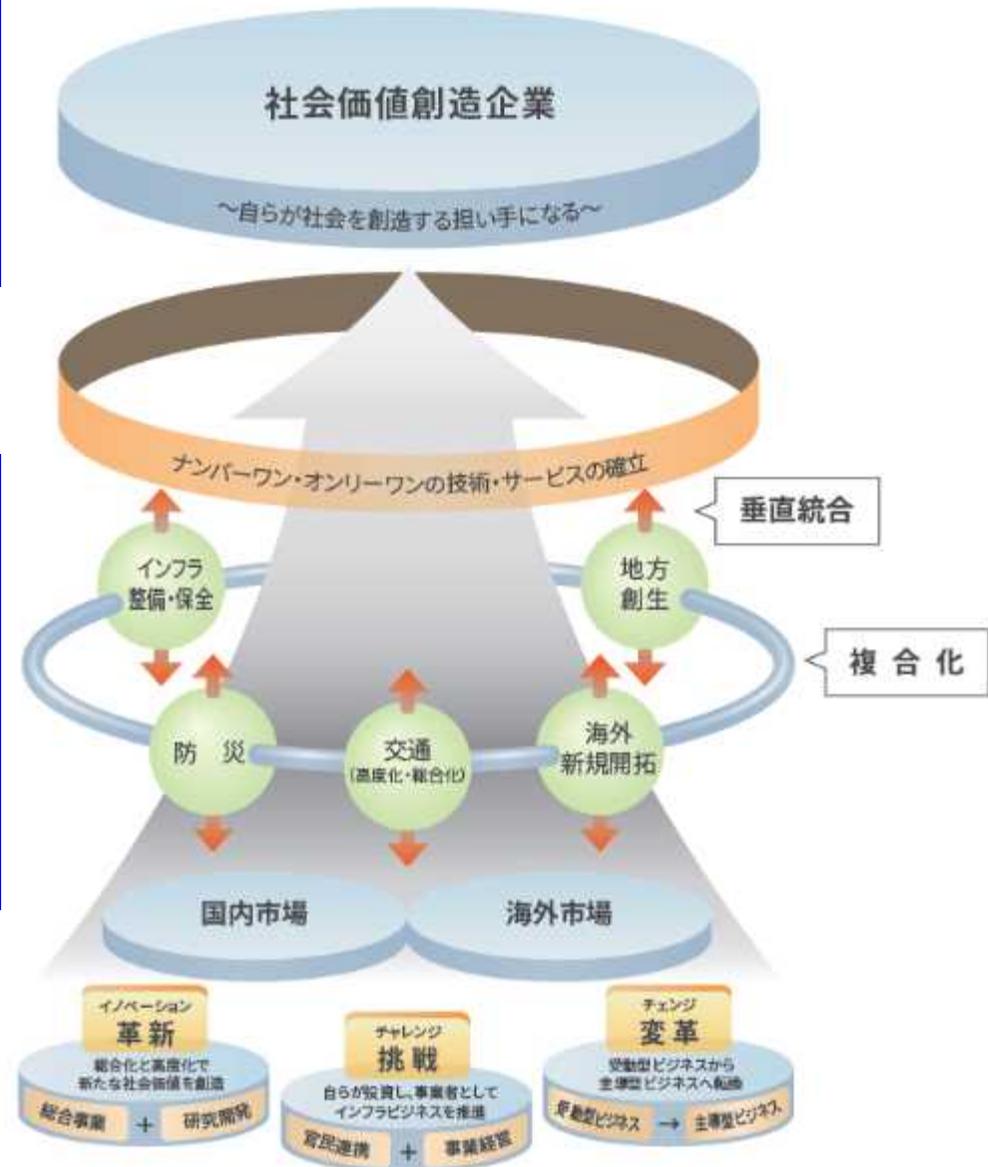
～自らが社会を創造する

担い手になる～

【中期経営計画】

＜強化方針(個の強化)＞

- 重点化事業により、
ナンバーワン・オンリーワンを確立
- 総合事業、研究開発を推進し、
新たな社会価値を創造



(2)重点化事業における事業創造・拡大

■当期は、96件の重点化プロジェクトを実施

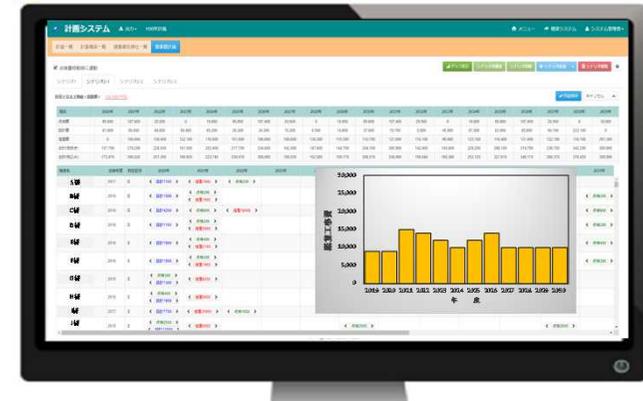
重点化事業		重点化PJ					
		前期実績 (2018/9)			当期実績 (2019/9)		
		OCHD	各社	計	OCHD	各社	計
①	インフラ整備・保全	6	21	27	6	27	33
②	防 災	3	16	19	2	15	17
③	交 通(高度化・総合化)	2	9	11	2	14	16
④	地方創生 <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー/スマートコミュニティ ・地域活性化 ・民間開発 ・事業経営 	2	14	16	3	21	24
⑤	海外新規開拓	5	3	8	6	—	6
合 計		18件	63件	81件	19件	77件	96件

(3)重点化事業(インフラ整備・保全)

<インフラ整備・保全>

■「橋梁長寿命化計画策定支援システム」をリリース

- ・ 橋梁の維持管理のマネジメントを最適化する「橋梁長寿命化計画策定支援システム」を開発
- ・ 自治体の効率的かつ効果的な公共施設マネジメントを支援



■道路トンネル補修にECI方式を活用(和歌山県日高川町)

- ・ 日高川町が管理する糠越(ぬかごえ)隧道の補修事業で「ECI方式」を活用
 - ・ ガイドラインを活用し、全国の基礎自治体に同方式を提案し、インフラ保全に貢献
- ※ ECI方式とは、アーリー・コントラクター・インボルブメントの略
この方式は設計段階から施工者が参画し、施工を前提として設計に対する技術協力を実施



トンネル補修後の糠越隧道

(4)重点化事業(防災)

<防災>

■ 要配慮者利用施設での避難確保計画策定を支援(東京都奥多摩町)

- ・ 2017年に改正された土砂災害防止法では、要配慮者利用施設での避難確保計画の策定と避難訓練の実施が義務化
- ・ 要配慮者利用施設での避難確保計画の策定と避難訓練の実施に対する支援を展開



訓練の様子

■ シンポジウム「土砂・水災害への備え ～要配慮者利用施設における安全確保に向けて～」を開催

- ・ 2019年9月開催シンポジウムの事務局として運営(2015年から5回運営)
- ・ 避難確保計画の策定促進を目的に、要配慮者等の避難や訓練の意義などを議論



パネルディスカッションの様子

(5)重点化事業(交通(高度化・総合化))

<交通(高度化・総合化)>

■花火大会での交通渋滞対策を実施(和歌山県白浜町)

- ・白浜町で開催された7月と8月の花火大会において、交通渋滞対策を実施し、大幅に渋滞減少
- ・今後も、南紀白浜空港を拠点に、交通円滑化・観光促進を推進



ホームページによる所要時間情報
及びライブカメラ情報の提供

■AI技術を活用した交通事故削減サービスの提供

- ・交通事故削減サービス「車録(シャーロック)」に、画像認識AIを搭載した新たなドライブレコーダーを導入
- ・ドライバーへのリアルタイムな注意喚起等、交通事故削減に向けたサービスを高度化



交通事故削減サービス高度化の仕組み

(6)重点化事業(地方創生)

<地方創生>

■ グリーンパークで自己投資によるカフェ事業等を開始(福岡県北九州市)

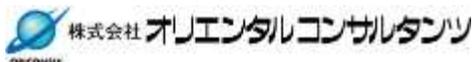
- ・ 飲食サービスの充実、利用者の利便性向上、公園の魅力向上等を目的に、自己投資によるカフェ事業を開始
- ・ 西日本初のネット&アスレチック遊具「空中冒険遊具あみ〜ご!」も導入



A Terrace & BBQ(店舗)

■ 開成町の魅力向上、地域活性化に向けた取組み(神奈川県開成町)

- ・ 指定管理を行っている瀬戸屋敷で、ホテルの育成や環境学習、見学会など、グリーンインフラの取組みを推進
- ・ 瀬戸酒造店ではイベント「酒蔵ピクニック」を開催し、ホテル再生の拠点として再整備した庭園の開放や酒蔵見学などを実施



ホテル再生の拠点となる瀬戸酒造店の庭園

(7)重点化事業(海外新規開拓)

<海外新規開拓>

■コロンボ LRTプロジェクトが開始(スリランカ)

- ・コロンボ市及び近郊において、利用者に優しい都市鉄道を目指したLRTシステムの整備に向けた事業が開始
- ・本事業では、詳細設計、入札補助、施工監理に係るコンサルティングサービスを実施

株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル



式典の様子

■ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業フェーズⅡを契約(ミャンマー)

- ・タウングー～マンダレー間(約350km)を対象に土木工事、信号通信工事など鉄道の改修・近代化を行う施工監理業務を受注
- ・フェーズⅠ(ヤンゴン～タウングー間:約270km)の施工監理業務(2016年12月契約締結)に引き続いて受注

株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル



調印式の様子

■中南米の拠点としてパナマ国に現地法人を設立(パナマ)

- ・9月に8つ目の海外現地法人となるOC Latin America.S.A.(OC LATAM)をパナマ国パナマ市に設立
- ・中南米地域のインフラ整備、経済発展に、より強く、効率的に寄与できる地盤を構築し、市場拡大を推進

株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル



開所式の様子

(8)外部評価

■「FIDIC Award 2019 優秀賞」を受賞

- ・設計、入札支援、施工監理などのコンサルタント業務を一貫して実施したベトナム国ラックフェン国際港建設事業(道路・橋梁)が受賞
(3年連続FIDIC Award受賞)



■設計を行った小名浜マリブリッジが複数受賞

- ・2019年 日本コンクリート工学会賞作品賞を受賞
- ・2018年度プレストレストコンクリート工学会賞作品賞を受賞



■瀬戸酒造店の日本酒が海外の日本酒コンテストで続々受賞

- ・KuraMaster(パリ)の純米酒の部で「セイチ音も無く」がプラチナ賞を、「セイチ手の鳴る方へ」がゴールド賞を受賞
- ・インターナショナルワインチャレンジ(ロンドン)の SAKE 部門純米吟醸酒の部で「セイチいざ」がシルバーメダルを受賞



(9) 人材育成

■ 次世代経営者候補の育成 (経営計画策定・推進検討会)

- ・グループ各社の次世代経営者候補の社員の人材育成として、「経営計画策定・推進検討会」を実施
- ・これまでに延べ100人を超える社員が参加



検討会 討議の様子

■ グローバル人材の育成(海外人材育成制度)

- ・グループ各社の社員が海外事業を経験できる「海外人材育成制度」を整備し、多くの社員が本制度を活用し海外事業を経験



海外研修先の現地事務所

■ 人材育成研修・技術講演のグループ相互活用 (グループ横断研修制度)

- ・グループ各社が主催する各種研修および技術講演に、当社グループの社員であれば、誰でも参加できる「グループ横断研修制度」を導入し、多くの社員が参加



学識経験者の講演

(10) 魅力ある企業に向けた活動

■ 女性ネットワーク活動 講演会・交流会を開催

- ・女性の活躍に向けたロールモデルの情報共有、意識向上を目的とした講演会およびグループ各社の女性社員のネットワークの構築を目的とした交流会を開催
- ・多様な人材が生き生きとやりがいを感じながら働ける職場づくりに向け、今後も様々な活動を推進

株式会社
オリエンタルコンサルタンツホールディングス



交流会の様子

■ 社員の家族を招待したファミリーデーを開催

- ・家族への感謝を伝えるとともに会社や仕事に対する理解を深める機会として、オリエンタルコンサルタンツグローバルがファミリーデーを開催
- ・今後も、すべての社員とご家族が安心して活躍できる業務環境の整備を推進

株式会社
オリエンタルコンサルタンツグローバル



参加者の集合写真

■ 『情熱とやりがいPJ』でプロジェクトツアー開催

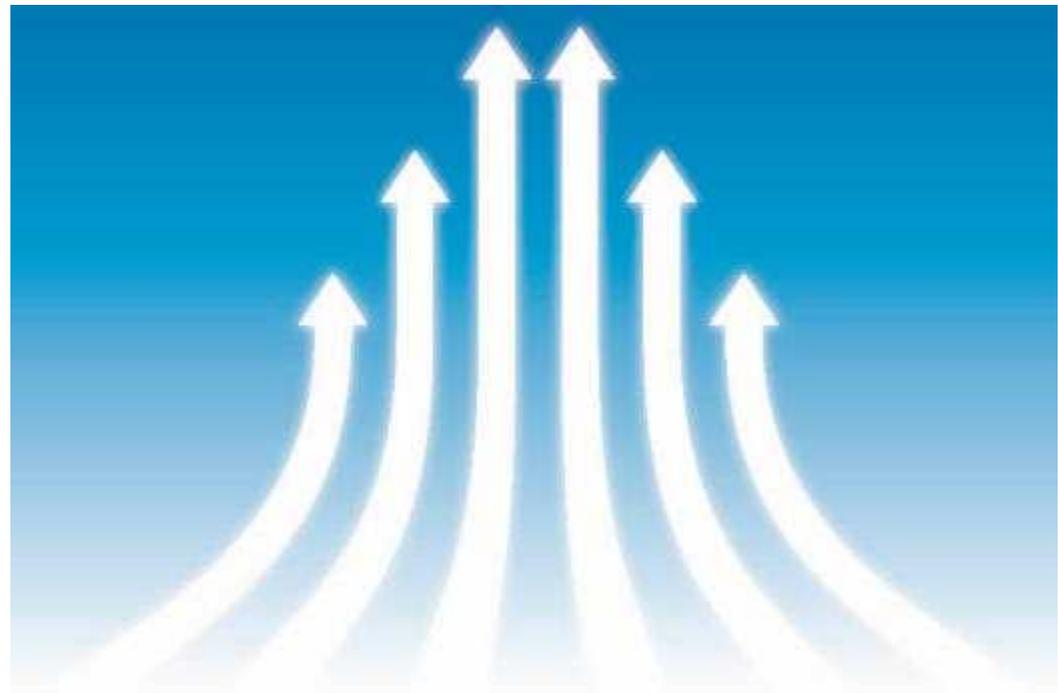
- ・オリエンタルコンサルタンツが関わった施工中・供用中の施設から、土木学会デザイン賞最優秀賞を受賞した首都高横浜環状北線などを見学するプロジェクトツアーを開催
- ・今後も、社員の『情熱とやりがい』の向上に向けた活動を推進

株式会社
オリエンタルコンサルタンツ



ツアーの様子

IV:2020年9月期 通期業績見通し



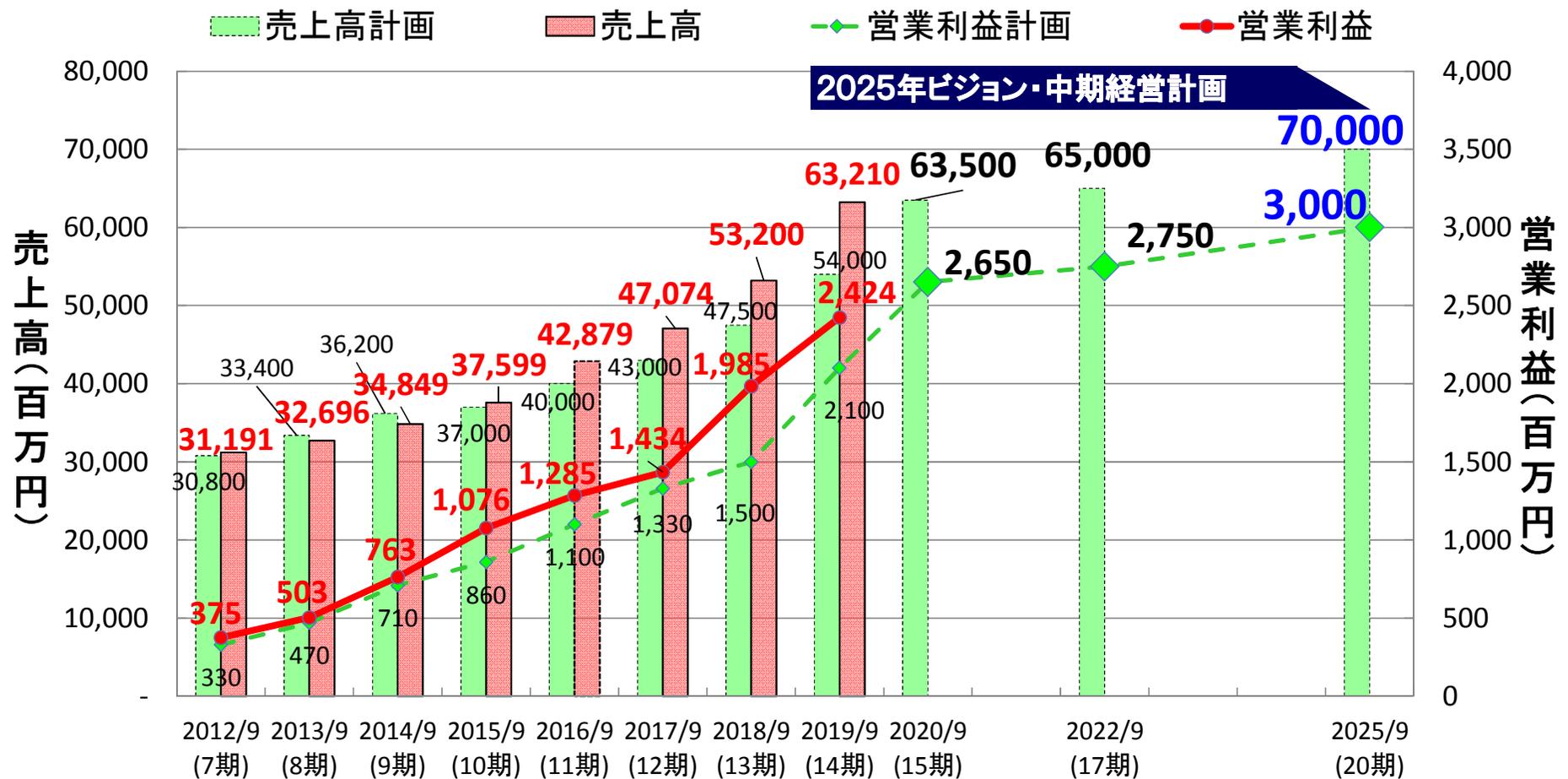
(1)2020年9月期 通期業績見通し

- 売上高635億円、営業利益26.5億円、当期純利益は16.8億円
- 売上高およびすべての利益で堅調に推移

	(百万円)		
	当期実績 (2019/9)	来期計画 (2020/9)	増減
売上高	63,210	63,500	↑ + 290 (+0.5%)
営業利益	2,424	2,650	↑ + 226 (+9.3%)
経常利益	2,069	2,590	↑ + 521 (+25.1%)
当期純利益	1,344	1,680	↑ + 336 (+24.9%)

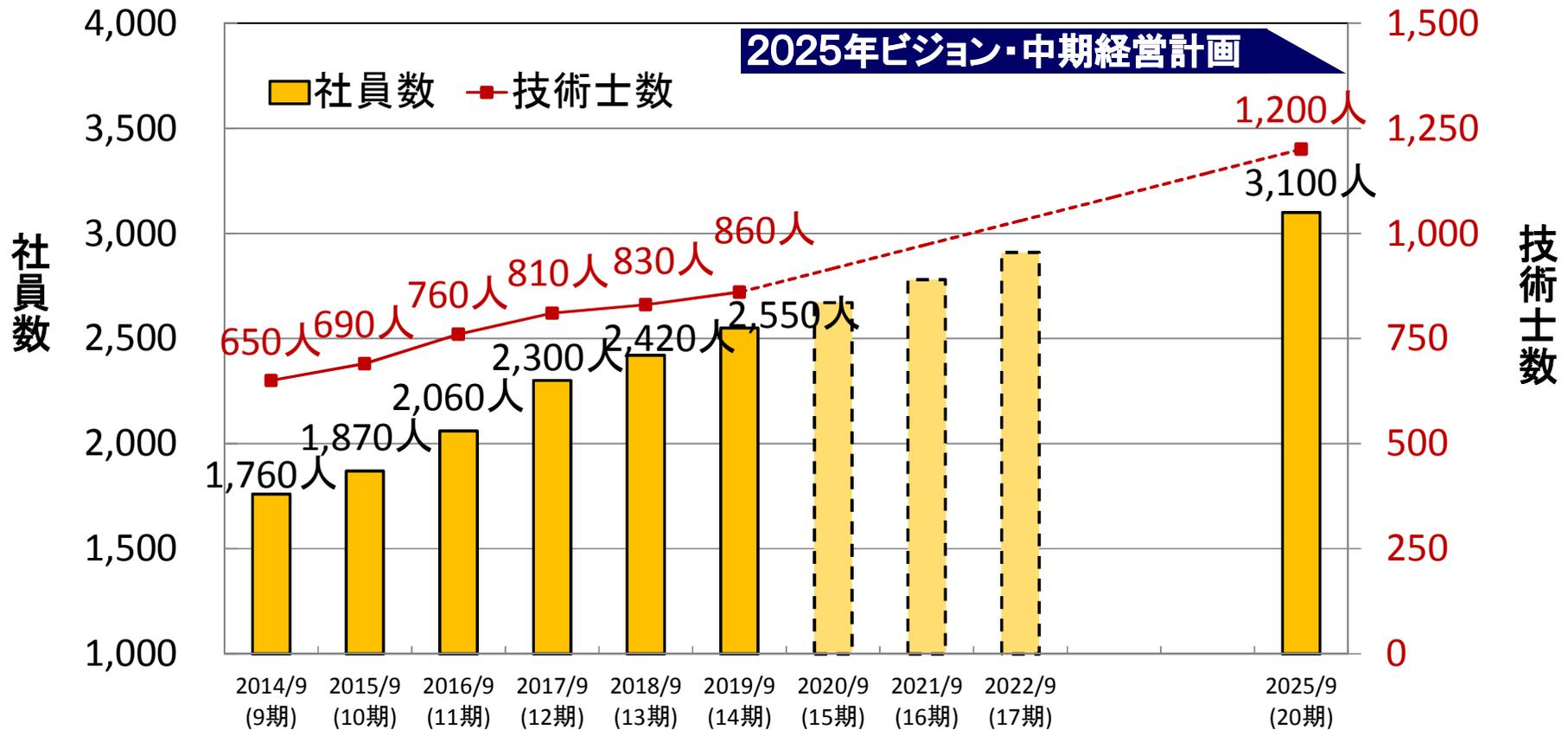
(2)2025年に向けた売上高・営業利益

- 2022年9月期は売上高650億円、営業利益27.5億円を計画
- 2025年には売上高700億円、営業利益30億円を目指す



(3)2025年に向けた人材

■2025年9月期には、社員数3,100人以上、
技術士1,200人以上、博士80人以上を目指す



(4)配当方針

- 長期的に安定した利益還元のために、
次の事項を総合的に勘案して配当を決定

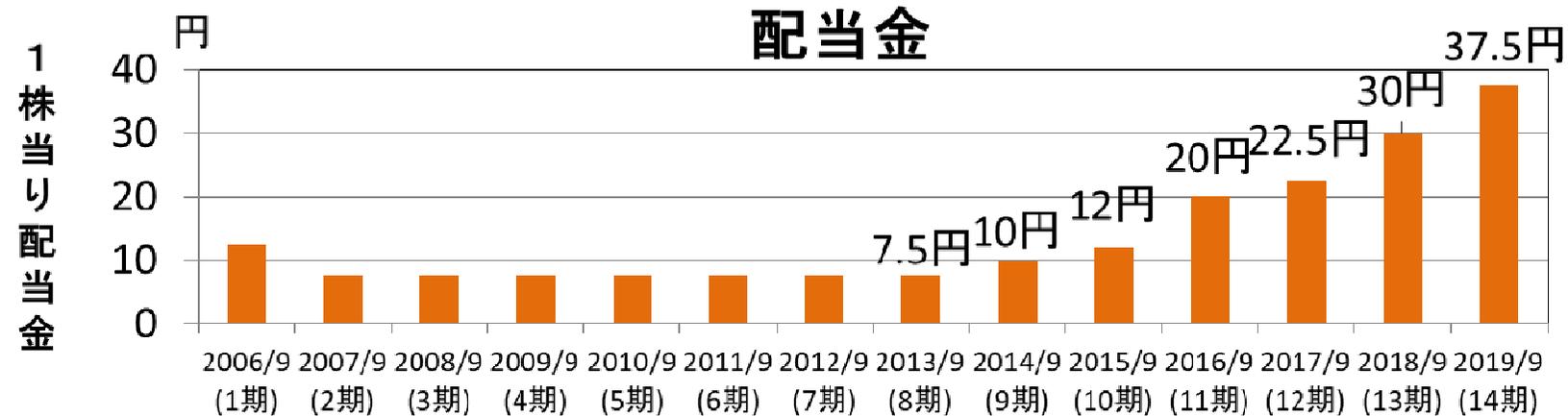
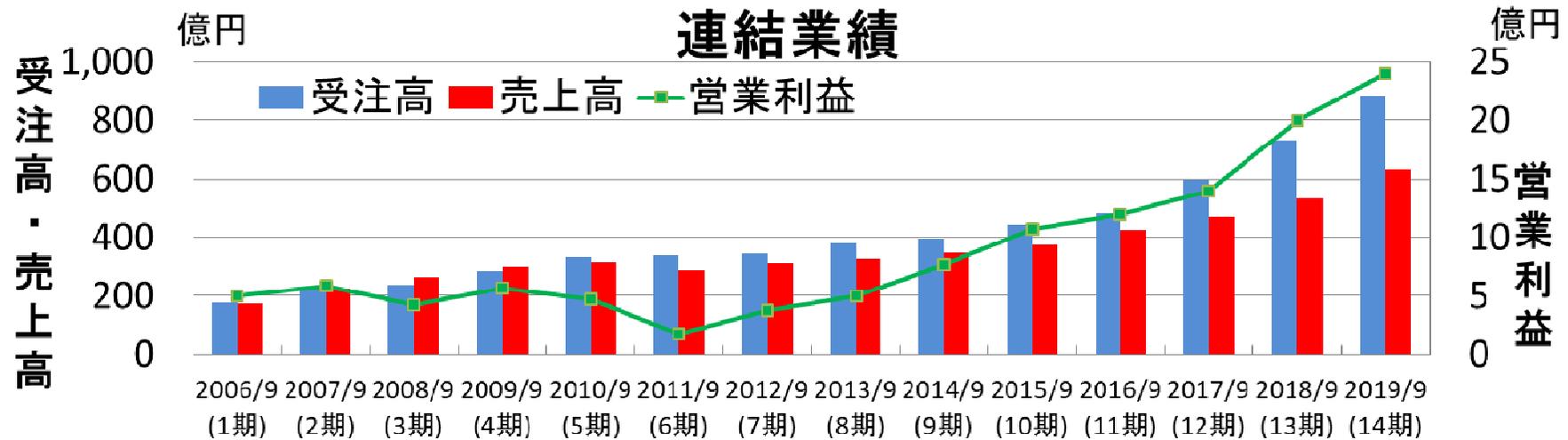
過去の連結業績の推移

今後の連結業績の見通し

配当性向・配当利回り・自己資本比率等の指標

(5)株主配当

- 6期連続増配
- 利益の増大とともに、配当金も増額



(6) 自己株式の取得状況

- 2020年5月までに15万株を取得予定
- 自己株式の取得は、9月末までに予定どおり36%進捗

	決議	取得状況 2019年9月末
取得株式数	150,000株 (上限)	53,600株
取得価額の総額	360百万円 (上限)	105百万円

なお、上記の決議のほか、2019年11月14日付取締役会において、自己株式取得の決議を行い、2019年11月15日付で25,000株(取得原価54百万円)を取得しております。

2025年。そして、その先の未来へ。

これからも私たちは、『**社会価値創造企業**』として
“**世界の人々の豊かなくらしと夢の創造**”
に**貢献**してまいります。



本資料および本説明会の説明には、当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

V : 質疑応答



お問い合わせ先

JASDAQ

銘柄略称:オリコンHD

証券コード:2498



株式会社

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <https://www.oriconhd.jp/>

(銘柄略称:オリコンHD / 証券コード:2498)

問合せ 統括本部 森田 信彦

e-mail: ir@oriconhd.jp

本日はご多忙の中、
弊社の決算説明会にご来場いただき、
誠にありがとうございました。



株式会社

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

Appendix



(1) 業界での地位①

業界上位10社に当社グループ会社が2社

建設コンサルタント部門 売上高ランキング

順位	会社名	売上高 (百万円)	前期比
1	日本工営	50,442	+11.2%
2	パシフィックコンサルタンツ	46,359	+4.6%
3	建設技術研究所	35,108	+3.7%
4	JR東日本コンサルタンツ	21,080	+7.6%
5	オリエンタルコンサルタンツ	21,005	+9.7%
6	八千代エンジニアリング	20,694	+1.4%
7	オリエンタルコンサルタンツグローバル	18,626	+20.3%
8	日水コン	17,868	+3.1%
9	エイト日本技術開発	17,650	+13.9%
10	いであ	17,306	+5.4%



出典：日経コンストラクション(2019. 4. 22)「特集 建設コンサルタント決算ランキング2019」
「建設コンサルタント部門の売上高ランキング」

(2) 業界での地位②

海外市場では当社グループ会社が1位

海外市場(ODA案件+非ODA案件) 売上高ランキング

順位	会社名	売上高 (百万円)	前期比
1	オリエンタルコンサルタンツグローバル	18,345	+21.1%
2	日本工営	18,258	+9.1%
3	東電設計	4,874	+12.9%
4	八千代エンジニアリング	3,620	△9.4%
5	TECインターナショナル	2,522	+38.9%
6	国際航業	2,521	+1.9%
7	パシフィックコンサルタンツ	2,198	+64.9%
8	日水コン	1,902	△7.3%
9	セントラルコンサルタント	1,401	+22.4%
10	三祐コンサルタンツ	1,347	△42.6%



参考:日経コンストラクション(2019. 4. 22)「特集 建設コンサルタント決算ランキング2019」
「ODAの売上高ランキング」と「非ODAの売上高ランキング」を合計した値を整理
(どちらかがランキング外の場合は、一方の売上高を表示)

(3) 株価

2,000円前後で推移



(4)株主優待制度

2017年6月末より、株主優待制度を導入

優待内容	100株以上 600株未満	クオカード 500円
	600株以上 1,000株未満	クオカード 3,000円
	1,000株以上	クオカード 5,000円

毎年6月末日現在、当社株式1単元(100株)以上を1年以上継続して
保有されている株主様が対象

(5) 指標

	単位	2016/9 (11期)	2017/9 (12期)	2018/9 (13期)	2019/9 (14期)
営業利益率	%	3.0	3.0	3.7	3.8
自己資本純利益率(ROE)	%	8.9	10.7	11.3	13.2
総資産経常利益率(ROA)	%	4.1	4.8	5.2	5.1
自己資本比率	%	26.6	28.8	24.9	25.5
有利子負債	百万円	1,717	1,319	993	2,622